



社会人になって支払う義務がある税金について

大田区立羽田中学校 三年 榎本 樹里

税金と言っと、一番近い物では、消費税しか思いうかびません。

消費税とは、商品の販売やサービスの提供に対してかかる税で、商品一つの物に対して、十%の税を支払っていることになります。

他の税とは？と考えた時に、毎月母が給料明細書に目を通し、税金の事で色々と言っているのを思い出しました。そもそも、「どうして社会人になったら給料から税金を引かれてしまうのか？」「自分で働いて稼いだお金は自由に使わせてほしい」と思うのは自然なことです。

そこで、私が社会人になったら支払う義務のある税金を調べる事になりました。社会人になると五つの税金が給料から差し引かれる様です。

一つ目は、所得税です。所得税とは、所得に応じて課税される税金、納税のかわりに私たちはさまざまな公共サービスを恩恵として受けているわけです。

二つ目は、健康保険料です。健康保険料とは病気や怪我などで医療機関にかかった際の費用を一部負担してくれる制度です。誰しも一度は健康保険料の恩恵を受けているはずですがこれは保険料を毎月支払っているからこそ成り立っているそうです。会社員の場合は会社が半額負担が義務づけられています。

三つ目は、厚生年金です。厚生年金とは老後の生活のために給付される年金制度民間企業が加入するものです。個人事業主や学生が加入している国民年金は厚生年金の場合、給料に保険料率をかけることで求められています。

四つ目は、住民税です。住民税とは、地方税の一つで都道府県や市町村に対して納める税金です。地域社会の為に使われる税金で日常生活の利便性に大きく関わっている税金だといえます。

五つ目は、雇用保険です。雇用保険とは、労働者の安定した生活を守る為の制度で育児休業や病気などによる休業時の手当や失業した際の保障などがこの保険料によってまかなわれているようです。

今回は、五つの税金の事を私なりに調べてはみましたが、調べれば調べる程、あまり聞かない言葉や制度が沢山あり、くり返しくり返し調べてみました。「おもしろいな?」「楽しいな?」と思う事は難しいとは思いますが、社会人になった時、自動的に給料が引かれる為、意識が薄くなりがちですが、税金はあくまでも自分たちで支払っているものです。「何を?」「いくら?」「何のために?」支払っているのかしっかりと把握しておくことは、社会人としての、重大な義務だといえます。新社会人としてデビューする前に給料と税金の仕組みをよく理解する事は大切だと思いました。